

11 月度 11 月 15 日 7 火曜日 サロン 21 レジューメ 下山が話題提供いたします。

「米国 中間選挙の予測と結果 その影響」

現地時間 明日 11 月 8 日に米国で中間選挙が行われます。

丁度 4 年任期の大統領選挙の中間で行われるので上記のように呼ばれます。

雑誌で掲載されたものが無く、日経に掲載されていた「図解 中間選挙」により説明させていただき、現バイデン大統領の 2 年間の通信簿とも呼ばれているこの選挙の事前予測と結果により、日本にも経済政策等に影響がでてくると思います。これを元に皆さんと討議をさせて頂きたいと思っております。

1. 何故 11 月第二火曜日に選挙が行われるのか
 2. 現職大統領への信任投票
 3. 上院の状況
 4. 下院の状況
 5. 過去の大統領の中間選挙結果
 - クリントン大統領 (民主)
 - ブッシュ Jr 大統領 (共和)
 - オバマ大統領 (民主)
 - トランプ大統領 (共和)
 - 現バイデン大統領? (民主)
 6. 民主党 共和党 夫々の伝統的スタンスと主な支持基盤
 7. 選挙の争点
 - (ア) 物価の上昇 米国では高インフレが続いている
 - (イ) 中絶の権利 州毎状況
 - (ウ) トランプ氏は 24 年大統領選を狙っている
 - トランプ推薦候補の予備選挙勝率は 9 割超え
 - トランプ系 3 割超えが本番選挙に
 - 上院は拮抗、スイングステートが鍵
 - 下院は共和党が優勢
 - (エ) 移民政策 米国を目指す不法移民は増加している
- 当日は PP でもう少し説明させていただきます。

以上